

社会にしよう

そんなのいらない

「男だけど」「女だけど」

# パートナー21

ジェンダー平等を実現するための啓発冊子

P1～P2 対談  
公民館活動×ジェンダー  
那珂川市・市立公民館連絡協議会  
会長 山崎 貴裕さん  
顧問 大屋 理恵さん

P3～P4 インタビュー  
五郎丸公民館長 京兼 加奈子さん  
王塚台公民館長 高木 秀子さん

P5 コラム

P6 アクション  
那珂川市自治会  
女性役員参画推進補助金  
編集後記



## 女性人材リストに登録しませんか

女性人材リストは、市の審議会をはじめ、様々な委員の募集等に際し、登録された方の情報提供を行うことにより、人材の活用を図る制度です。

### 登録できる人

- (1) 18歳以上の女性(高校生は除く)
- (2) 市政に関心があり、審議会等に参加する意欲のある者
- (3) 那珂川市の一般職の職員(会計年度任用職員を除く)、常勤の特別職の職員及び議会の議員でない者
- (4) 各種分野において、専門的識見若しくは活動経験を有する者又は資格を有する者
- (5) 特定の政治活動、宗教活動又は専ら営利活動を目的としない者

### 登録の方法

「那珂川市女性人材リスト登録申請書※」にご記入のうえ、人権政策課へご提出ください。(郵送可)

※那珂川市役所人権政策課や各公民館に設置しています。  
HPからもダウンロードできます。

### 問い合わせ先

那珂川市人権政策課 人権同和政策・男女共同参画担当  
Tel:092-953-2211(代表) Fax:092-953-0688  
E-mail:jinken@city-nakagawa.fukuoka.jp

# 公民館活動

## × ジェンダー

地域社会において男女が共に活躍できる環境づくりが求められています。那珂川市の地域活動はどのような現状にあるのか「公民館」に焦点を当ててお話を聞きました。

### 女性参画における公連協の変化

山崎 十数年前、私が公民館長をしていたときは、公民館長は男性が多い印象でしたが、現在は多くの女性が公民館長として活躍されています。

大屋さんは私が会長になつて初の女性事務局長です。

大屋 公民館長や事務局長のお話があつたときは、経験のない私でよいのかなと思いましたが、地域のために「私で良ければ！」と快諾しました。

山崎 大屋さんは、やつてよかつたと思うことはありましたか。

大屋 人前で話をする機会も多く、緊張の連続でしたが、地域の皆さんにサポートしてもらひながら貴重な経験をさせていただきました。地域のいろいろな方と交流を深めることができました。一度きりの人生なので、やつてよかつたなと思います。

### 公民館長の活動に重要なものは？

山崎 家族の理解は大切だと思います。

私もはじめの頃、よく弱音を吐いていたのですが、家族が自分のことを一番理解して、応援してくれているので活動ができるのかなと思います。

大屋 大屋さんはどうですか。

大屋 私も、家族の助けや応援のおかげで、地域活動に精一杯取り組むことができたと思います。家族には本当に感謝しています。そして、家族だけでなく、私を受け入れ、協力してくれた自治会や公民館の役員の方々の支えがあったことは言うまでもありません。

山崎 たしかに、役員同士の支え合いか必要ですね。参加しやすい時間の設定など、協力をしてもらいやすいような見直しは必要だと思います。

### 今後の公民館活動の課題と未来

大屋 性別に関係なく、チャレンジできる機会を増やしていくこと、そして

様々な視点の意見を受け止められる環境を作っていくことが必要だと考えてます。活動を楽しまないともつたくなります。活動を楽しまないからね。自分のため、ひいては地域のために、自分にできることにどんどんチャレンジしてもらえる環境を作つた。

その中で、できる人ができる範囲で楽しく活動することが重要だと思っています。人口が減少していく社会で、公民館活動を継続していくために、何ができるか考えないといけないと思います。



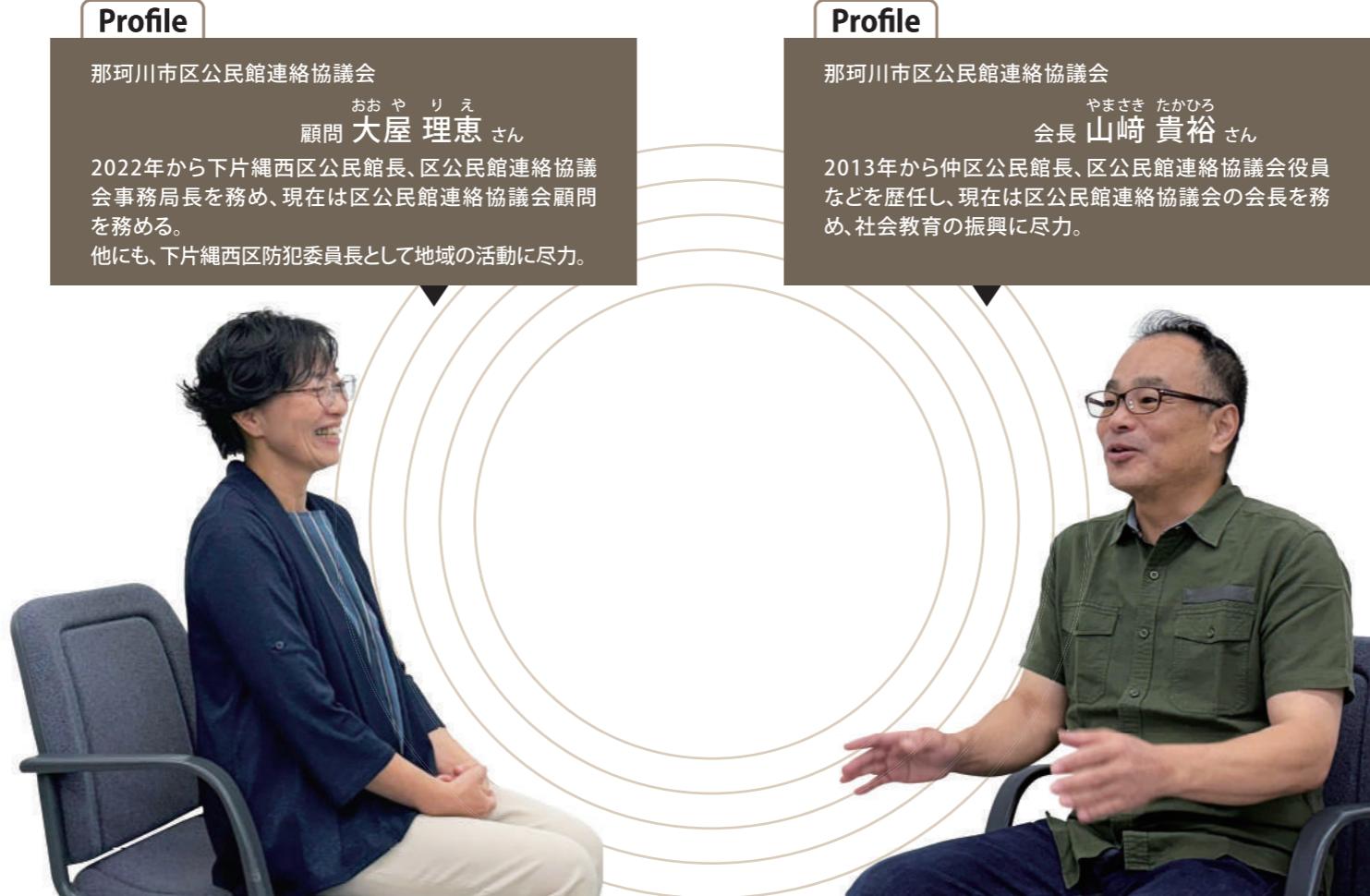
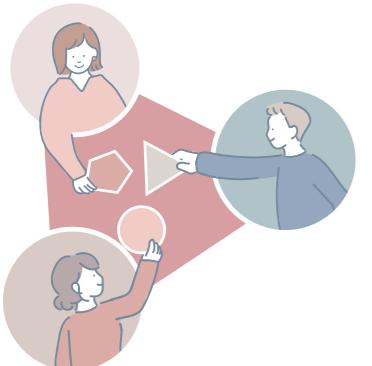
山崎 「女性が」「男性が」というわけではありませんが、一つの視点に偏った運営にならないように活動を行っています。

### 女性が増えたことで感じた変化

現在、公連協も女性の割合が高くなり、性別に関係なく、様々な視点で意見を言い合える組織になっていると思います。会議では、男性だけ、女性だけの視点では気づけなかった意見や提案も少なくありません。こうした変化を誰もが参加しやすい公民館活動につなげていければと思います。

那珂川市  
区公民館連絡協議会

区公民館連絡協議会(公連協)は、区公民館活動をよりよいものにするため、公民館相互の情報共有や連携を図ることを目的にした組織。近年は女性の区公民館長が増加し、性別に関係なく、多くの方が地域のために活躍されています。



**Profile**  
那珂川市區公民館連絡協議会  
顧問 大屋 理恵さん  
2022年から下片縄西区公民館長、区公民館連絡協議会事務局長を務め、現在は区公民館連絡協議会顧問を務める。  
他にも、下片縄西区防犯委員長として地域の活動に尽力。

**Profile**  
那珂川市區公民館連絡協議会  
会長 山崎 貴裕さん  
2013年から仲区公民館長、区公民館連絡協議会役員などを歴任し、現在は区公民館連絡協議会の会長を務め、社会教育の振興に尽力。

## Interview インタビュー

王塚台区公民館長 高木秀子さん

### 経歴

2018年 王塚台区公民館長  
2019年 区公民館連絡協議会 理事  
2020年 区公民館連絡協議会 副会長  
2021年 区公民館連絡協議会 監査委員



## 『公民館活動』

### 公民館活動の原動力と楽しさ

#### 女性だけでもダメ。男性だけでもダメ。

ここまで、公民館長を続けられるのは仲間の存在が大きいですね。王塚台区では、各役員が主役となつてそれぞれの好きな行事を企画し、仲間全員で準備をしています。

すべて自分がしていたら、長く公民館長を続けられないかもしれません。本当にみんなに助けられているなと思います。

できないことはお願いして、自分にできることは精一杯やることで楽し公民館長をできているかなと思います。

#### まずは参加することから

私が公民館長になつたきっかけは、退職したときに、区長から声をかけてもらつたことでした。右も左も分からぬ中で、区で行われる行事にできるだけ多く参加することから始めました。参加することでたくさんの方と知り合うことができ、活動の楽しさに気づくことができました。また、区の行事に参加してもらうことでたくさんの方に活動の楽しさを知つてもらえたからです。



#### ハードルは決して高くない

役員はどんな人でもできると思います。初めは、みんな分からぬことばかりですが、周りの人たちがサポートしてくれます。自身、周りに助けてもらつてばかりなので…。

役員をあまりハードルの高いものだとは思わないでほしいなと思います。大変なことはありますが、今しかないうチャンスですのでたくさんの方に挑戦してほしいです。

## 女性公民館長にきいた

五郎丸区公民館長 京兼加奈子さん

### 経歴

2022年 五郎丸区主事  
2024年 五郎丸区公民館長  
区公民館連絡協議会 事務局長  
安徳・安徳北地区連絡協議会 会長



はじめは、どうやつたら業務を効率化できるかを一番に考えていました。ただ実際に活動していく中で、多くの方が公民館の行事を楽しみにされていることを知り、どうすればたくさんの方が参加して、楽しむことができるかを考えるようになりました。そのため、業務的な負担はできるだけ減らしていきたいなと思っています。

今見直しをすることで、今後、若い世代や女性の方が公民館長や役員になりやすくできるかなと思います。

代や女性の方が公民館長や役員になりやすくできるかなと思います。

五郎丸区は女性役員の方が多いんです。大変な力仕事などがありますが、地域の方と協力して行うので女性が多いからといって困ることはないです。女性が役員をするのは難しいと思われがちですが、やってみるとそんなことはないと思います。必要なときは周りの方が助けてくれますしね。

#### 性別は関係ない

## 公民館長になつて気づいたこと

### 公民館長の楽しさと魅力

やつぱり達成感ですね。準備のときは、どうしてここまでしなきゃいけないんだろうと思うこともあります。でも、一息ついて、みなさんから楽しけつたと言つてもらえたとき、公民館長をやつてよかつたと思いました。それに、公民館長をしていなかつたら、出会えなかつた人がたくさんいることを考えると、やつてよかつたなと思います。

#### 私から伝えたいこと

役員だけではなく、子育て世帯の方など、たくさんの方に関わつてほしいなと思います。自分事として参加してみると、きっと楽しいと思います。もちろん、大変なことも多いですが、私自身、それ以上にやつてよかつたと思うことが多いので、試しに関わつてみて、役員をしてもいいかなと思える人が増えてくれたら嬉しいです。



**補助金額**  
①か②のうちどちらか  
一つを満たしている自治会  
10万円  
①と②両方を満たしている自治会  
20万円

## 編集後記

対談とインタビューを通して、みなさんが大変なこと、楽しいこと、達成感などをいきいきとした様子で話されているのが印象的で、地域の活動に熱意をもって取り組まれていると強く感じました。また、誰もが主役となって活躍できる地域づくりが進んでいることも実感しました。

「女性だからできない」「男性だから難しい」というような考えは思い込みであって、性別に関係なく自分にできることを自分らしく取り組んでいくことが大切です。

那珂川市自治会女性役員参画推進補助金事業は、性別に関わらず活躍できる環境を築くためのきっかけづくりにすぎません。

「男だけど、女だけどそんなのいらない社会」にするために、私たちにできることを考えてみませんか？



## 自治会 × ジェンダー平等

## 女性役員が3割以上をしめる自治会

2020年

7区  
36区  
(19.4%)

2023年

9区  
37区  
(24.3%)

性別に関わらず、あらゆる人が等しく意思決定に参画することで、既存の取り組みにいろいろな視点が加わって、アップデートすることが重要だとされています。このことは、地域でも同じです。いろいろな人が参画することで、より魅力的な地域づくりができるようになり、持続可能な地域社会の発展につながります。

地域の主体である自治会は、見守りや防災、つながりづくりなど様々な役割を担っています。そうした自治会にあらゆる人が等しく参画することで、魅力ある人が等しく参画することで、魅力ある地域を実現することが近年、地域に求められています。

那珂川市の自治会役員に占める女性の割合は、少しずつですが増えてきており、地域への女性参画の意識が向上していることがうかがえます。

一方で、女性の自治会長の割合が県平均を下回り、地域の役割が男性に任せられている現実も否めません。魅力ある地域を実現するために、何ができるかを考える必要があります。

## 女性の自治会長の割合(2023年)

那珂川市

5.4%

福岡県

10.4%

※「令和5年度福岡県男女共同参画白書」より